

世羅町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証
(地方創生交付金事業効果検証)

事業名	首都圏交流・移住・農業定着促進事業							
交付金	平成30年度：地方創生推進交付金 (平成29年度～継続事業)	H30年度 事業費	10,361 千円	H30年度 交付金	5,180 千円			
事業概要	本町の基幹産業である農業は高齢化などにより担い手が不足している状況であり、若年者の確保や首都圏をはじめ町外からの移住者などにより幅広く人材を集め、新たな農業の担い手を確保するため、首都圏における情報発信の強化、移住体験ツアーの実施、移住相談体制や地域での受入れ態勢の充実を図るとともに、農業体験や農業実践研修により就農に結び付ける取り組みを行う。							
平成30年度の取り組み	基本目標－基本施策－施策 番号		概要					
	1-6	①新規就農者と後継者の確保	農業実践研修や農業体験事業の実施					
	2-1	①移住に関する総合窓口の設置	定住支援員を配置し移住総合窓口設置					
	2-1	③移住希望者への情報発信の拡充	PR動画やポスターの作成					
	2-1	④お試し居住による世羅町を事前体験する機会の創出	お試し住宅の提供					
	2-1	⑤UIJターン者のネットワークづくり	I net 世羅や移住定住促進協議会との連携による取り組み					
	2-3	①世羅高等学校における教育環境の支援と地元を担う人材の育成の促進	世羅高における校外農業研修の支援					
	4-1	①自治センターを中心とした地域づくり	世羅創生塾による移住体験ツアー実施					
交付金事業の業績評価指標 (KPI)		基準値	H29 増加	H30 増加	R1 増加	増加 累計	H30年度 実績値	H30年度 KPI達成状況
		A	B	C	D	E	F	F-(A+B+C)
①新規就農者数 (人)		4	6	0	0	6	9	-1
②空き家バンク成立件数 (件)		4	9	1	1	11	10	-4
③移住相談件数 (件)		151	9	20	20	49	183	3
④独立経営の新規就農者 (人)		2	3	0	0	3	1	-4
事業効果	地方創生に相当程度効果があった		一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合					

【世羅町総合戦略推進会議での評価】

総合戦略のKPI達成に	有効であった
-------------	--------

世羅町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証
(地方創生交付金事業効果検証)

事業名	「世羅ブランド認証制度」により農業を希望する移住者が住みたくなる町づくり事業							
交付金	平成30年度：地方創生推進交付金 (平成29年度～継続事業)	H30年度 事業費	1,241 千円	H30年度 交付金	620 千円			
事業概要	世羅町が持つ農業資源を活用した町全体の活性化方策としての「世羅ブランド」を確立するため、世羅ブランド戦略会議が統括し、少量でも高単価を狙える品目と栽培方法の選定を行い、安心安全基準「世羅GAP」等の3つの認証基準によりブランド化の取組みを行う。また、認証を受けた農産物は、販路開拓のコーディネーターを活用し都市部の百貨店や高級スーパーなどをターゲットに市場開拓を行う。							
平成30年度の 取り組み	基本目標－基本施策－施策 番号				概要			
	1-3	①世羅ブランドの認証制度の創設			世羅ブランドの認証と認証品目を百貨店でのイベント販売実施			
交付金事業の業績評価指標 (KPI)		基準値 A	H29 増加 B	H30 増加 C	R1 増加 D	増加 累計 E	H30年度 実績値 F	H30年度 KPI達成状況 F-(A+B+C)
①認証品目の売上高 (千円)		0	7,200	14,400	10,800	32,400	1,200	-20,400
②世羅ブランド認証品目数 (品目)		0	30	10	10	50	21	-19
③世羅町への転入超過数 (人)		-44	20	30	30	80	-91	-97
④認証品目売上平均単価上昇率 (%)		0	10	5	5	20	15	0
事業効果	地方創生に効果があった		KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合					

【世羅町総合戦略推進会議での評価】

総合戦略のKPI達成に	有効であった
-------------	--------

事業名	農業観光のまち「大田庄」が潤うビジネスサポートプロジェクト									
交付金	平成30年度：地方創生拠点整備交付金	H30年度 事業費	350,582 千円	H30年度 交付金	175,291 千円					
事業概要	農業観光関連の中小事業者の生産性の向上を図るため、事業者が売上を伸ばすための新たな取組みや課題解決に向けて、スキルアップ研修などのビジネスサポート、商品開発やメニュー開発、販売実習、就労相談、子育て世代などの支援機能が一体となった拠点施設として整備を行う。									
平成30年度の 取り組み	基本目標－基本施策－施策 番号				概要					
	4-1	②「小さな拠点」の整備			大田自治センターの整備及び移転					
交付金事業の業績評価指標 (KPI)		基準値 A	H30 増加 B	R1 増加 C	R2 増加 D	R3 増加 E	R4 増加 F	増加 累計 G	H30年度 実績値 H	H30年度 KPI達成状況 H-(A+B)
①当該施設で研修・相談により売り上げ 上昇した事業者率 (%)		0	0	35	15	5	5	60	0	0
②当該施設で研修を受け就労した人数 (人)		0	0	60	20	15	10	105	0	0
③当該施設を活用した商品開発・ メニュー開発品目数 (品目)		0	0	10	15	10	5	40	0	0
事業効果	—		指標値・実績値ともに0であるため。							

【世羅町総合戦略推進会議での評価】

総合戦略のKPI達成に	有効であった
-------------	--------

世羅町まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証
(地方創生交付金事業効果検証)

事業名	子育ての現役世代ベテラン世代交流施設整備事業										
交付金	平成29年度：地方創生拠点整備交付金			H30年度 事業費	— 千円			H30年度 交付金	— 千円		
事業概要	世羅町の西部地域の活性化や、まちづくりの推進に資する多世代が活躍する多世代交流拠点施設として、子育てカフェを中心に、子育て世代や高齢者の居場所となる複合施設を行政・教育・金融・福祉などの多様な機能と一体化するよう役場せらにし支所の敷地内へ施設整備する。										
平成30年度 の取り組み	基本目標－基本施策－施策 番号					概要					
	4-1	①自治センターを中心とした地域づくり			自治組織が行う地域自治活動事業や自治組織の運営の支援						
交付金事業の業績評価指標 (KPI)		基準 値 A	H29 増加 B	H30 増加 C	R1 増加 D	R2 増加 E	R3 増加 F	増加 累計 G	H30年度 実績値 H	H30年度 KPI達成状況 H-(A+B+C)	
①施設利用者の多世代交流率 (%)		0	0	30	10	10	5	55	39	9	
②施設を利用する子育て活動団体数 (団体)		1	0	3	1	1	1	6	5	1	
③世羅町への転入超過数 (人)		-44	20	30	30	10	10	100	-91	-97	
事業効果	地方創生に相当程度効果があった			一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合							

【世羅町総合戦略推進会議での評価】

総合戦略のKPI達成に	有効であった
-------------	--------